

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

企業名 かでな振興 株式会社
(施設) 屋外体育施設
代表者名 代表取締役 砂川 恵喜

1. 基本チェックリスト

- 施設管理人の就業前の体温測定・マスク着用
- 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用の周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための入場者整理の方法

① 密にならないための対策

- ・管理事務所の接客が対面になる為、ビニールカーテンで遮蔽します。
- ・施設内が混雑しないよう、必要に応じて利用制限を実施する。

② 発熱等の症状のある方の入場制限方法

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方については、原則として利用をお断りする。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・他人と共有する物品は可能な限り少なくし、使用後は適宜消毒を行う。
- ・可能な限り密着するような練習を控えてもらうよう、協力を求める。

② 飛沫感染対策

- ・利用時は、必ずマスクを着用する。

(3) 施設の換気対策

- ・常時、窓は二カ所以上空けておく。

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、ドアノブ、手すりなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう、表示する。
- ・ハンドドライヤーの使用を禁止する。
- ・こまめな手洗い、うがいをお願いする。
- ・更衣室、シャワー室の利用を禁止する。
- ・唾液等が付着するゴミは、ビニール袋に入れて密閉した上でゴミ袋に入れる。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

企業名 かでな振興 株式会社
(施設) 屋内体育施設
代表者名 代表取締役 砂川 恵喜

1. 基本チェックリスト

- 施設管理人の就業前の体温測定・マスク着用
- 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用の周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための入場者整理の方法

① 密にならないための対策

- ・管理事務所の接客が対面になる為、ビニールカーテンで遮蔽します。
- ・休憩室等のベンチは身体的距離を2メートル確保する。
- ・利用時間は消毒の時間を考慮し、下記のとおりとする。

② 発熱等の症状のある方の入場制限方法

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方については、原則として利用をお断りする。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・他人と共有する物品は可能な限り少なくし、使用後は適宜消毒をおこなう。
- ・可能な限り密着するような練習を控えてもらうよう、協力を求める。

② 飛沫感染対策

- ・利用時は、必ずマスクを着用する。

(3) 施設の換気対策

- ・常時、窓は二カ所以上空けておく。

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、ドアノブ、手すりなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう、表示する。
- ・ハンドドライヤーの使用を禁止する。
- ・こまめな手洗い、うがいをお願いする。
- ・更衣室、シャワー室の利用を禁止する。
- ・唾液等が付着するゴミは、ビニール袋に入れて密閉した上でゴミ袋に入れる。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

企業名 かでな振興 株式会社
(施設) スポーツドームトレーニング室
代表者名 代表取締役 砂川 恵喜

1. 基本チェックリスト

- 施設管理人の就業前の体温測定・マスク着用
- 施設内の手指の消毒設備の設置
- 利用者に対するマスク着用の周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための入場者整理の方法

① 密にならないための対策

- ・管理事務所の接客が対面になる為、ビニールカーテンで遮蔽します。
- ・休憩室等のベンチは身体的距離を2メートル確保する。
- ・トレーニング室内の密を避けるため、利用制限を実施する。
- ・利用人数(8名まで)を制限し、1時間毎に入れ替えを行う。
- ・トレーニング室利用はすべて予約制にする。
※定数に達していない場合は予約なしで利用可能とする。
- ・利用時間は消毒の時間を考慮し、下記のとおりとする。
8:00~9:00、9:15~10:15、10:30~11:30、11:45~12:45、13:00~14:00、
14:15~15:15、15:30~16:30、16:45~17:45、18:00~19:00、19:15~20:15、
20:30~21:30

② 発熱等の症状のある方の入場制限方法

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方については、原則として利用をお断りする。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・トレーニング室内では、身体的距離を2メートル確保する。
- ・利用者は他人と共有するトレーニング器具等を使用した後その都度消毒を行う。

② 飛沫感染対策

- ・利用時は、必ずマスクを着用する。

(3) 施設の換気対策

- ・常時、窓は二カ所以上空けておく。

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、ドアノブ、手すりなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。
- ・1時間毎にトレーニング室内の器具等の消毒を行う。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう、表示する。
- ・ハンドドライヤーの使用を禁止する。
- ・こまめな手洗い、うがいをお願いします。
- ・更衣室、シャワー室の利用を禁止する。
- ・唾液等が付着するゴミは、ビニール袋に入れて密閉した上でゴミ袋に入れる。